

# SOLAN IMPACT

## 「言葉」の持つ力

先日、学年で「言葉」について考える機会を設けました。

「言葉」はとても便利なもので、相手との関係を深めたり、新しいものを生み出したり、優しい気持ちを育んだりすることができます。その一方で、使い方を誤ると、相手を傷つけたり、騙したり、嫌な思いをさせてしまうこともあります。

話しの中で、「言葉は包丁のようなもの」という例えを紹介しました。

包丁が、料理をするための大切な道具であると同時に、使い方を間違えれば人を傷つけることもあるように、「言葉」もまた、使い方次第で人を温かくも冷たくもできる力を持っているという意味です。

子どもたち一人ひとりが他者意識を持って相手に接すること、一人ひとりが言葉を大切にし、温かい気持ちで学校生活を送れるような学年の雰囲気、子どもたちとともに作っていきたいと思います。

## 2Q前半もありがとうございました。

7月が終わり、5年生がスタートしてから4か月が経ちました。

早いもので、今年度も3分の1が過ぎ、子どもたちは「自立・自律・他者意識」の3つのキーワードを大切にしながら、様々な経験を学びに変え、日々の生活を送っています。

係活動でなくても自主的に掃除をしたり、ホワイトボードを進んで消したり、ノートを配ったりする姿が見られます。そんなちょっとした気づきや思いやりの行動からも、子どもたちの成長を感じ、日々感心させられています。

2Q前半は、宿泊体験をはじめとするさまざまな行事を通して、子どもたちにとって多くの学びの場がありました。

今週も、社会科の校外学習で木曽三川輪中ミュージアムに行きました。子どもたちの学びに対する姿勢は素晴らしく、自分たちの問いや疑問を解決したい気持ちが溢れていました。各教科の授業でも学ぶ姿勢や自分たちの中にある疑問や興味をとことん追求しようとする姿勢に対して褒められる場面が多くありました。

2Q後半も、行事や日々の生活・学習の中で、子どもたちがさらに力を発揮し、自信を深めていけるよう、学年団一同、これからも丁寧にサポートしてまいります。

今後とも、引き続き温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

